

## 目的

地域包括ケアに関する様々な能力事項について自己分析をしていただくことで、ご自身の得意な事項と不得意な事項を明確にして、特に不得意な事項については研修などで研鑽していただくことに役立てることを目的としています。

また、入力された結果につきましては、都道府県理学療法士会（以下、「士会」という。）とも共有して、士会が介護予防事業やケア会議など自治体事業等に理学療法士を派遣・推薦する際の参考にさせていただくとともに、皆様が苦手とする点があれば協会・士会で計画する研修等にも反映することを予定しています。

# 自己診断シートとは

## 【回答レベルの目安】

目安	対象地域ケア会議推進リーダーおよび介護予防推進リーダー
レベル1	
推進リーダーの取得を目指す者	【地域ケア】これから個別地域ケア会議に参加する理学療法士を対象。
	【介護予防】これから介護予防に取り組もうとする理学療法士を対象。
	・基礎的な知識、技能を応用できる。
	・効果的な他職種連携・地域連携ができる。
	・地域・行政のニーズや状況の変化に適切に対応する。
レベル2	
推進リーダー取得者	【地域ケア】すでに個別地域ケア会議に参加している理学療法士を対象。
	【介護予防】すでに介護予防事業に取り組んでいる理学療法士を対象。
	・幅広い知識と経験を有し、難易度が高い取り組みを実施できる。
	・他職種連携・地域連携により他職種と一緒にした取り組みが実施できる。
	・地域・行政の課題解決や政策形成に結びつけることができる。

【評価の構成】 ・3段階評価「○、△、×」で各能力を各自が評価する。

【① 共通－1】共通能力ユニット	1.職業倫理とコンプライアンス
	2.チームワークとコミュニケーション
	3.他職種や地域・関係機関に働きかける能力
	4.利用者の安全確保、トラブルの未然防止
	5.利用者の安全確保、トラブルの未然防止
【② 共通－2】理学療法能力ユニット	1.アセスメント能力
	2.プログラム立案・実施・説明能力
	3.生活環境把握能力
	4.その他能力
【③地域包括ケア推進リーダー】選択能力ユニット	1.個別地域ケア会議における能力
	2.地域ケア会議開催の促進
【③介護予防推進リーダー】選択能力ユニット	1.介護予防の支援内容
	2.介護予防の実施